

# 全5回シリーズ：オンラインセミナー 臨床医学論文の書き方

※本セミナーはオンラインで開催されます。  
※1回のみ参加も可能です。

対象：広島大学の研究者（各回定員100名）

※大学院生も参加可

新任教員研修プログラムの対象です

## 概要

科学論文全般で最もよく使われる基本形はIntroduction, Materials & Methods, Result, and Discussion (IMRaD)の型であるが、これは臨床医学論文から生まれたものである。IMRaDの各セクションをどのようにまとめるのかは、明確には決まっていなかったが、そこには一定のパターンが存在する。このようなパターンを理解して活用できれば、論文執筆のスキルは大幅に向上できるはずである。本セミナーの内容は、臨床医学トップジャーナル4誌から集めた395編の論文に関する独自の分析結果に基づいている。論文を定量的に分析してその特徴を明らかにするためには、IMRaDの4つのセクションでは範囲が広すぎる。そこで、これら4つのセクションをさらにいくつかのパート（Move）に分けた論文コーパス（データベース）を作成し、各Moveに統計的に有意なキーワードとキーフレーズを抽出した。これらを分類するにあたって、論を構成するためのStepをMoveの下位概念として設定したが、Stepの流れは概ね論文の展開に沿っていた。また、臨床医学論文におけるIMRaDの特徴のひとつは、Materials & MethodsとResultの間の明確な対応関係である。本セミナーでは、実際の論文を教材として使いながら、典型的な論文の流れ、セクション間の対応関係、特徴的な定型表現などを解説する。

## 講師



### 河本 健

ライティングセンター 特任教授  
ライフサイエンス辞書プロジェクトのメンバー。専門は、分子生物学と英語論文コーパス研究。

著書：

「トップジャーナル395編の『型』で書く医学英語論文」、  
「ライフサイエンス 英語表現使い分け辞典」、  
「ライフサイエンス論文作成のための英文法」など多数。

## セミナースケジュール

### 2021年

- 【第1回】 8月26日（木） 18:00～19:30  
「論文の構造とIntroductionのMove分析」
- 【第2回】 9月2日（木） 18:00～19:30  
「Introductionにおけるストーリー展開の基本技術」
- 【第3回】 9月9日（木） 18:00～19:30  
「Move分析が示すMethods/Resultsの特徴と書き方」
- 【第4回】 9月16日（木） 18:00～19:30  
「Move分析が示すDiscussionの特徴と書き方 / Titleの付け方」
- 【第5回】 9月30日（木） 18:00～19:30  
「文の組立て方とライフサイエンス辞書コーパス活用法」

※Microsoft Teamsを利用します。参加ご希望の日にちを選んで参加登録を行ってください。